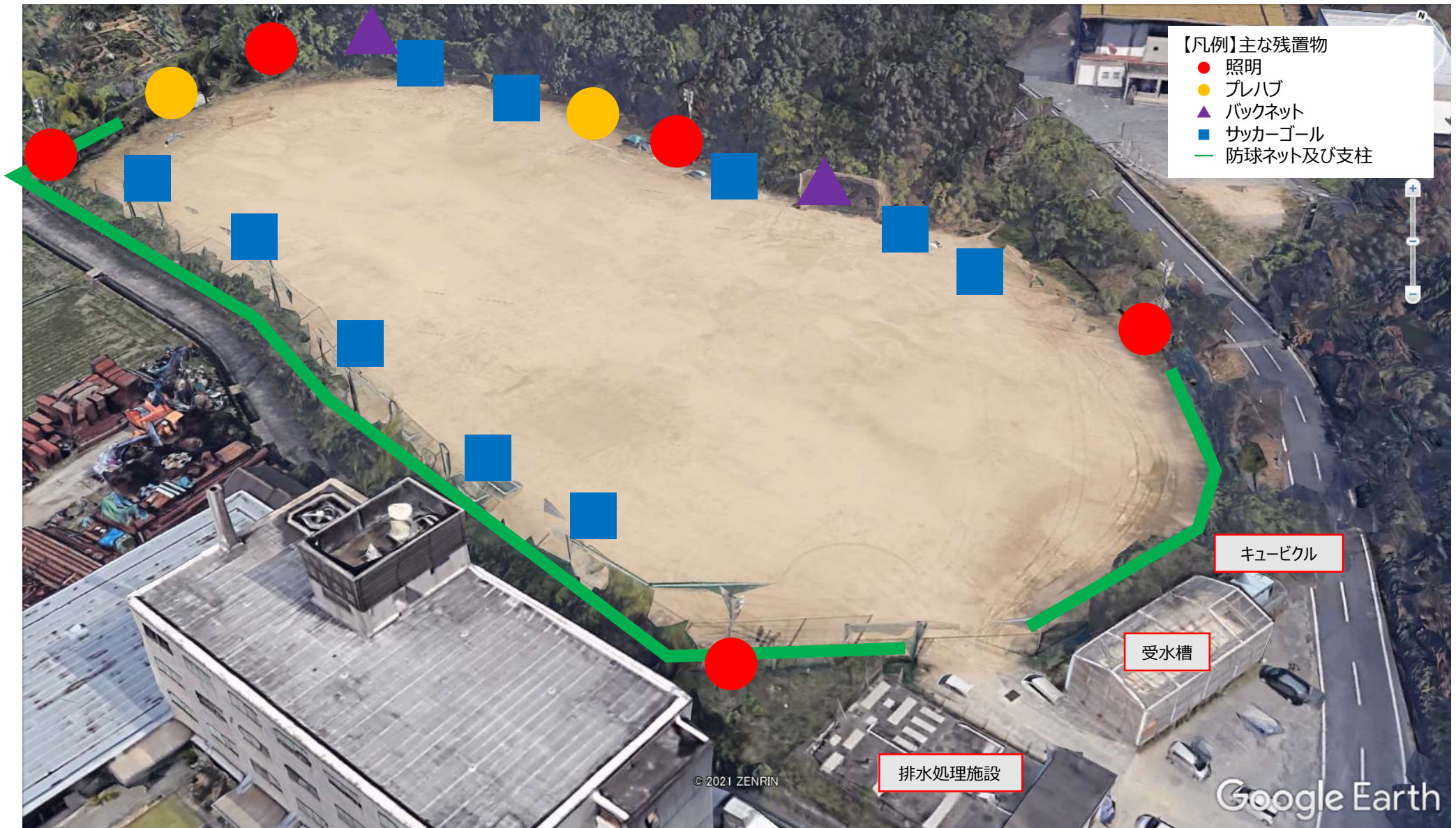
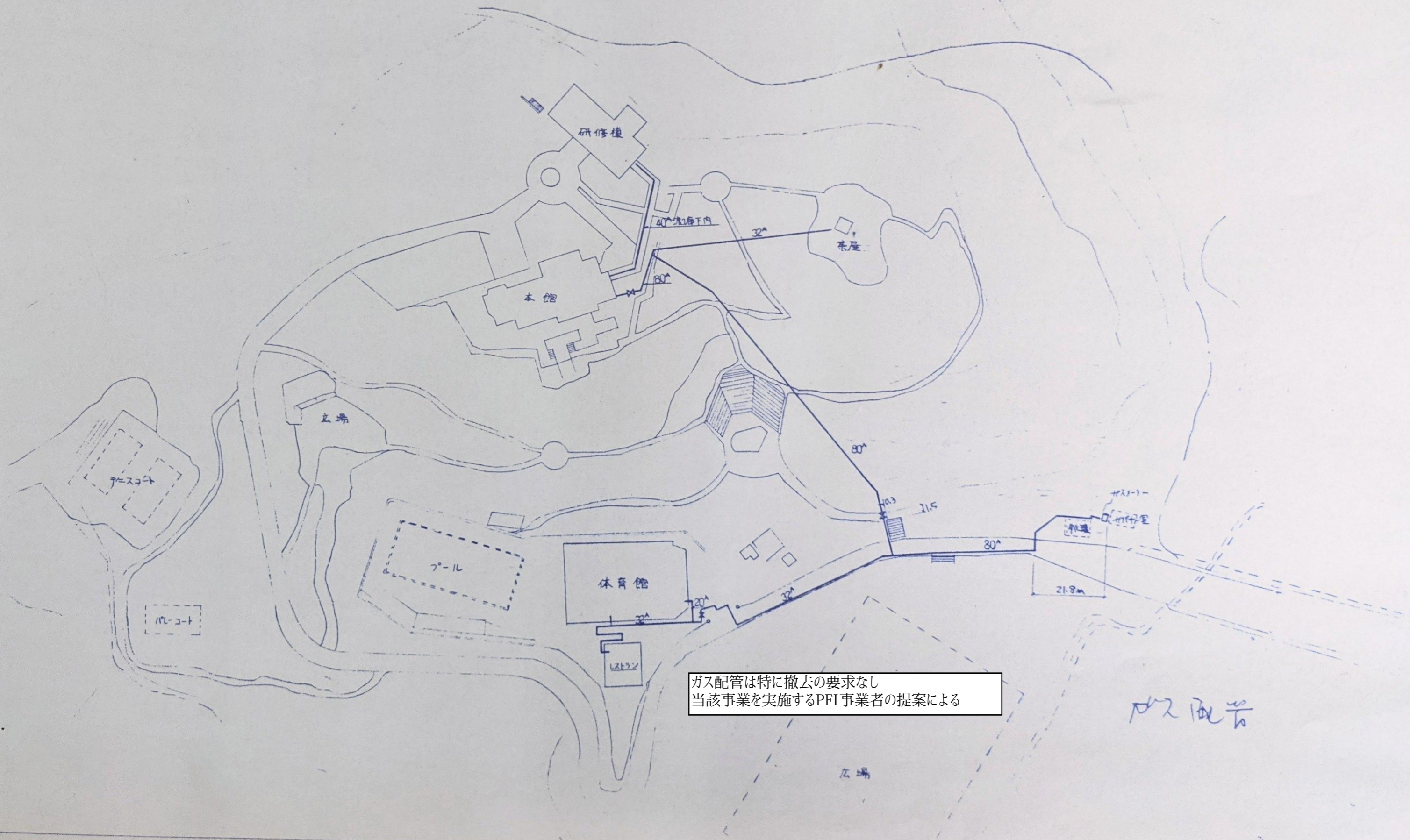


追加資料1 「(仮称)倉敷学校給食共同調理場・防災備蓄倉庫整備運営事業(以下、当該事業)」で撤去する残置物等

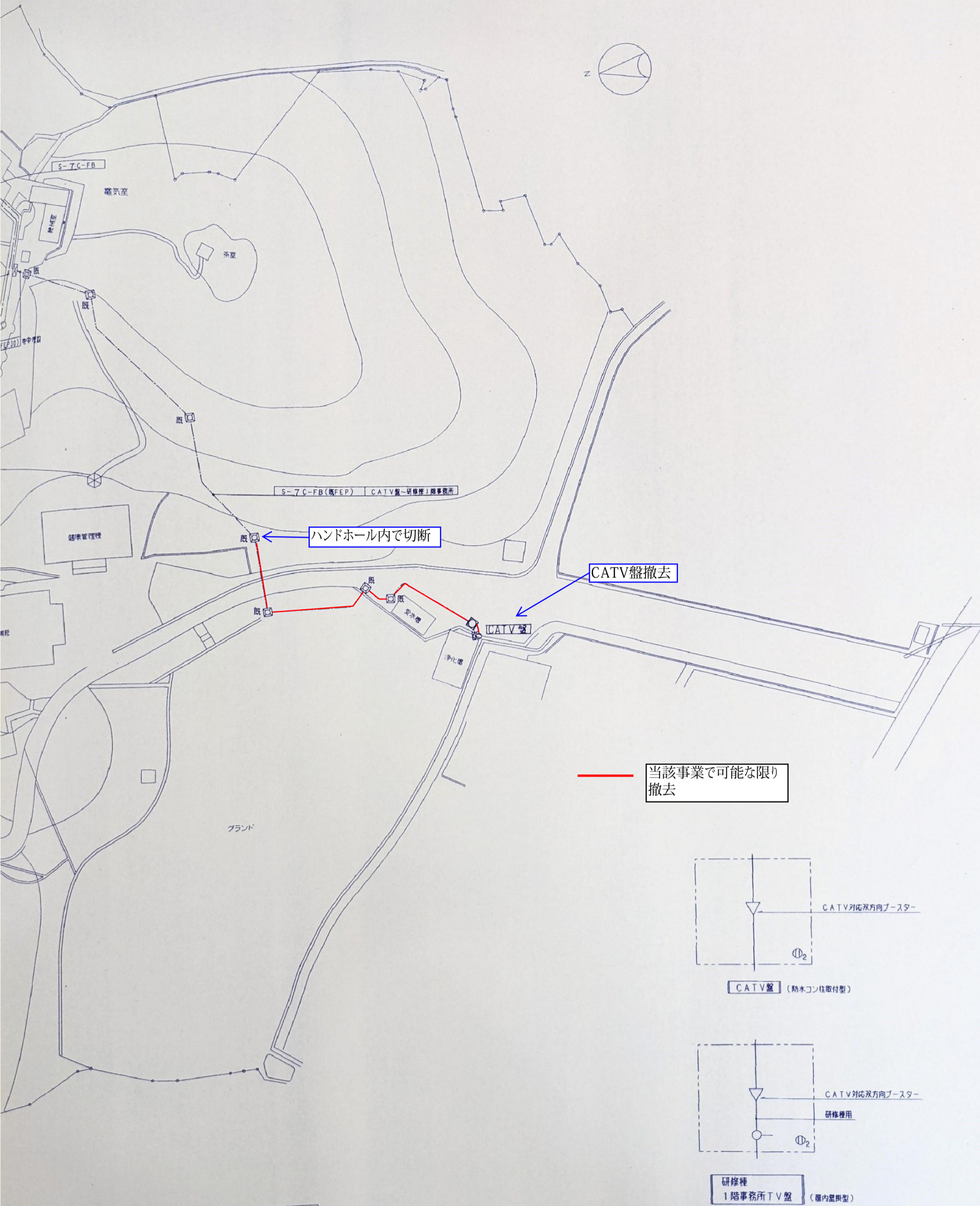


※凡例に示す主な残置物以外についても、必要に応じて当該事業にて撤去する。
※敷地東側の排水処理施設、受水槽、キュービクルの撤去は当該事業に含む。




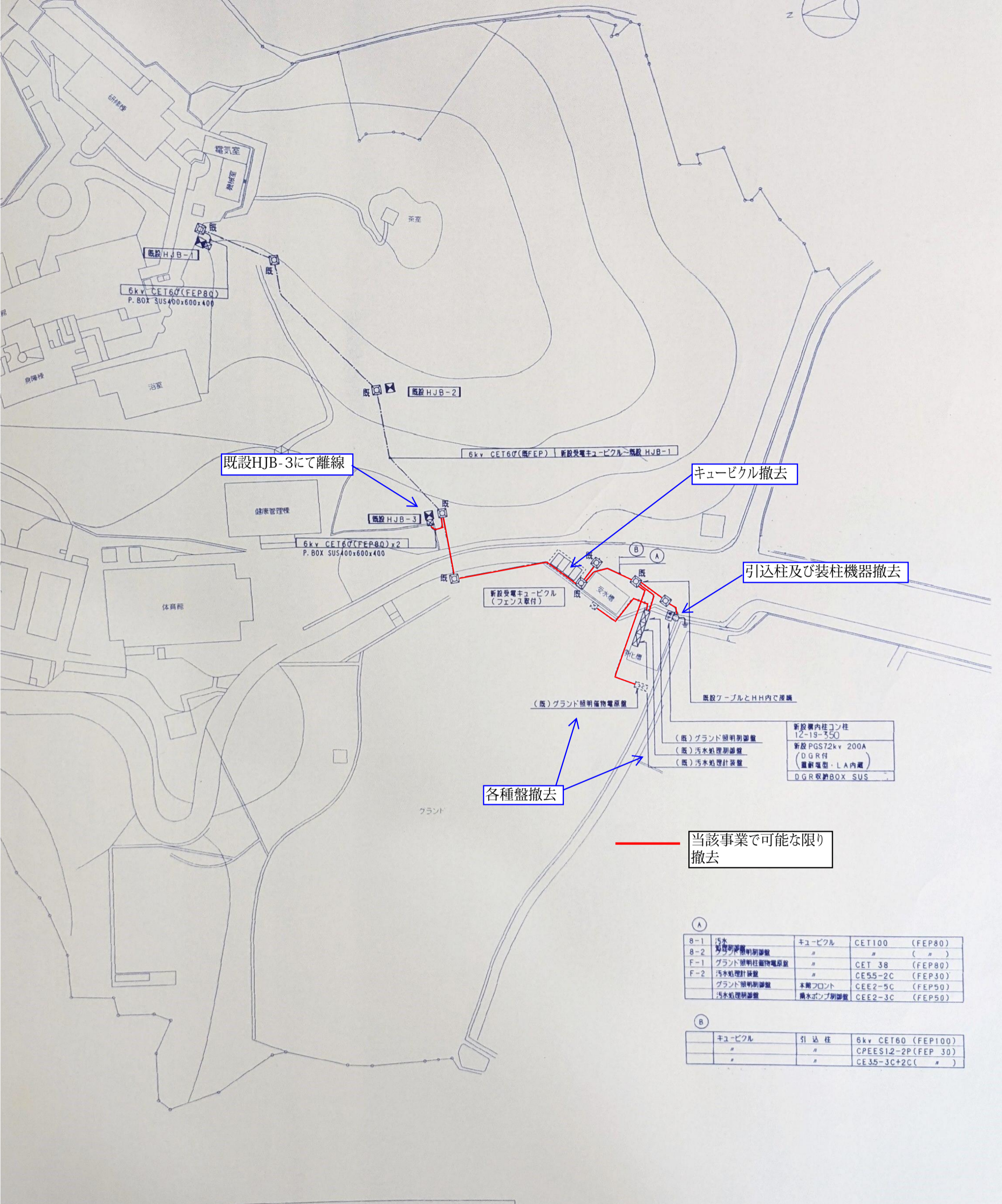
ガス配管は特に撤去の要求なし
 当該事業を実施するPFI事業者の提案による

ガス配管



配置図 S=1/1000

 縮尺 1/1000 日付	工事名称 完成図・財産図 山陽ハイツ耐震改修その他電気設備工事	工事番号
	図面内容 電話・CATV設備屋外配線図	図面番号 E



新設構内柱コン柱 12-19-350
新設 PGS72kv 200A (DGR付 最新型・LA内蔵)
DGR収納BOX SUS

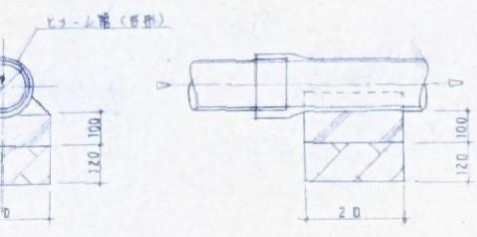
——— 当該事業で可能な限り撤去

A			
8-1	汚水	キュービクル	CET100 (FEP80)
8-2	グランド照明制御盤	"	" (")
F-1	グランド照明柱電原盤	"	CET 38 (FEP80)
F-2	汚水処理計装盤	"	CE55-2C (FEP30)
	グランド照明制御盤	本館フロント	CEE2-5C (FEP50)
	汚水処理制御盤	雨水ポンプ制御盤	CEE2-3C (FEP50)

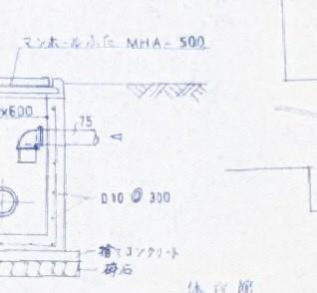
B			
	キュービクル	引込柱	6kv CET60 (FEP100)
	"	"	CPEES12-2P (FEP 30)
	"	"	CE35-3C+2C (")

配置図 S=1/1000

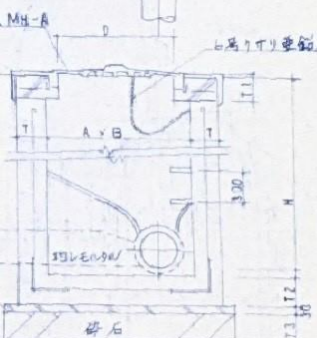
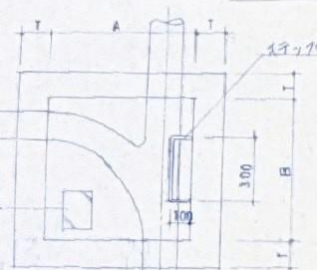
縮尺 1/1000	工事名称	完成図・財産図 山陽ハイツ耐震改修その他電気設備工事	工事番号
	日付	図面内容	図面番号
		高圧受電設備屋外配線図	E-52



七、一、去管基礎図 NO SCALE



図例 NO SCALE

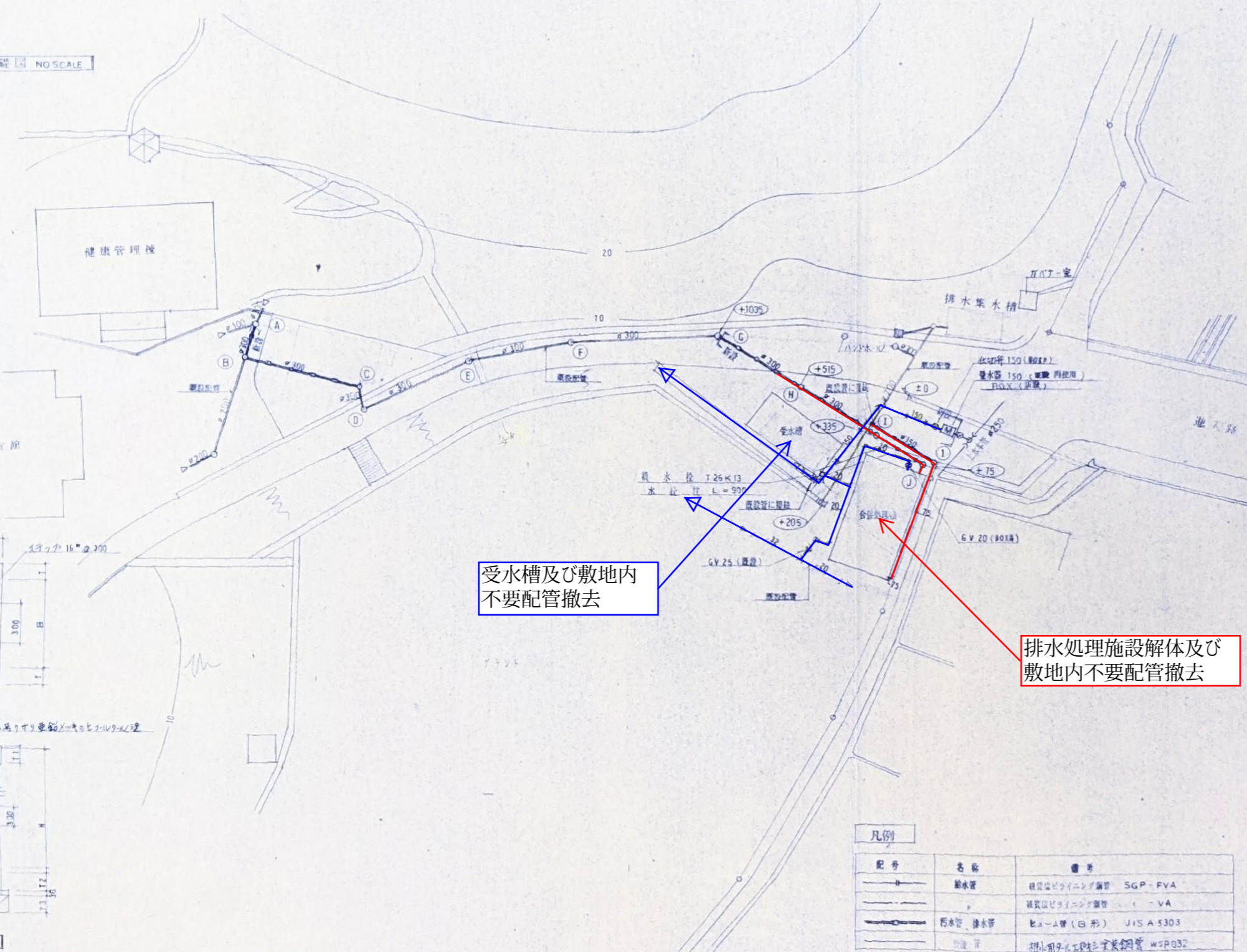


汚水井 NO SCALE

掘深	掘径	掘径	掘径	掘径	掘径	掘径	掘径	掘径	掘径
H	T	T1	T2	T3	D	D	D	D	D
610-1200	60	100	120	120	500	500	500	500	MH-A
1210-2000	120	120	120	120	350	600	600	600	MH-A

1000以上の掘径は、掘径16φ300(無蓋)のマンホールに
 必要に応じて、掘径16φ300(無蓋)のマンホールに
 必要に応じて、掘径16φ300(無蓋)のマンホールに
 必要に応じて、掘径16φ300(無蓋)のマンホールに

屋外配管図 S=1:500



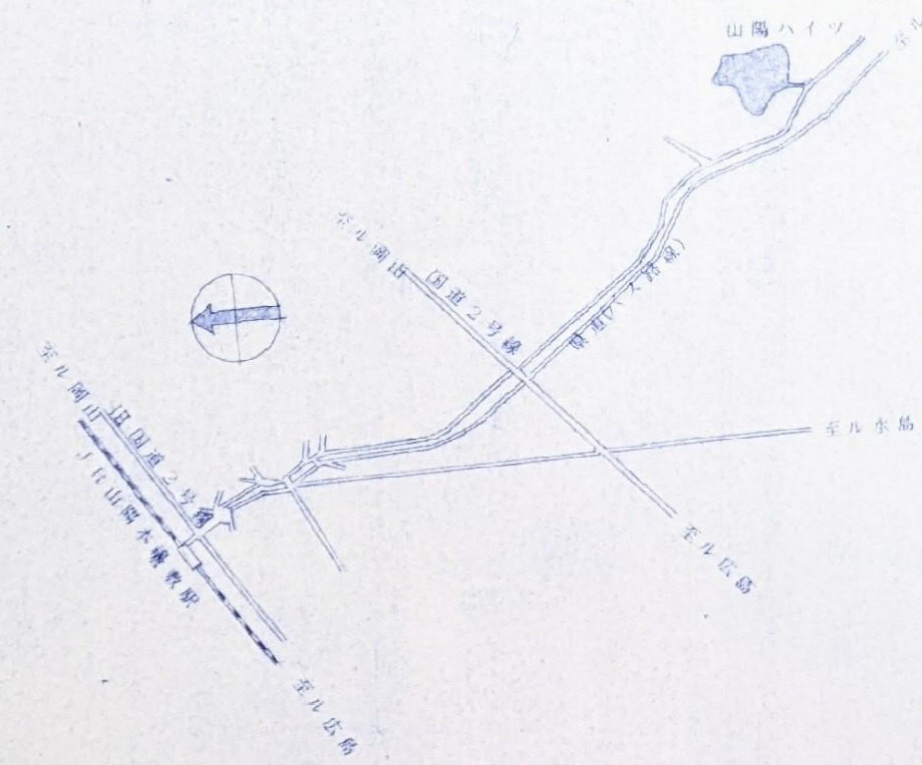
受水槽及び敷地内
不要配管撤去

排水処理施設解体及び
敷地内不要配管撤去

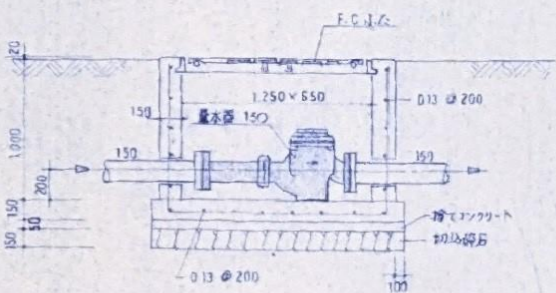
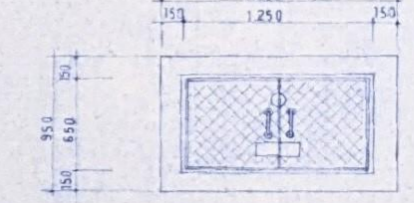
凡例

記号	名称	備考
—	給水管	硬質塩化ビニル管 SGP-FVA
—	排水管	硬質塩化ビニル管 VA
—	汚水管・排水管	ヒューズ管 (B形) JIS A 5303
—	埋設管	熱可塑性ポリ塩化ビニル管 WSP032

※ 図中の○は敷地内現状の地盤面を示す



案内図 S=1:25,000



排水器BOX NO SCALE (新設)

表リスト

記号	名称	寸法	管底寸法	備考
A	汚水井	φ 900	-1.430	既設 MH-A 500
B	"	750 x 750	-1.520	新設
C	"	φ 900	-1.200	既設
D	"			
E	"			
F	"			
G	"		-1.260	
H	"	600 x 600	- 942	新設 500
I	ドロップ井	750 x 750	-1.692	600
J	汚水井	750 x 750	-1.652	
1	排水井	600 x 600	- 762	500

- 備考
- 1) A, C~G 既設井のマンホールは正人孔に取替える。
 - 2) A, C, G のマンホールを改造、他の井は内部反接の上補修の上。
 - 3) 上記表中の管底寸法は現状地盤面からの深さを示す。